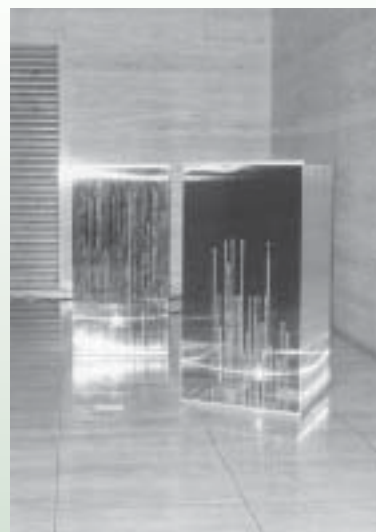


美術センター 久我記念館

福島 佐紀子 展 — BODY —

4月の久我記念館企画展は、7日から22日まで福島 佐紀子さんの個展を開催します。



福島さんからのメッセージです。

いつの間にか、抽象絵画から現代美術へと関心が移り、そして少しずつ作品がたまりはじめた頃、ジャン・マルク・ビュスタモント（フランス）の言葉に出会いました。「あたかも層状に堆積していく地層のようにして、その相貌をあらわにしていくものです。」この言葉に、不意に背中を押されて、個展へと気持ちが進みました。

5年前の子宮体癌の手術の経験も、その後の「リンパ浮腫」という病気も、一つの層状となり、「私」という人生の層が、相貌をあらわすような気がしてきました。

— BODY —

一年に一個づつのように、ゆっくりと作りつづけた作品です。

小部屋の水彩と色エンピツ画は、治療後、色の使えない状態から、画くことで回復していく事が感じられた作品たちです。

4月企画展
4月7日（土）～22日（日）
（月曜休館、入場無料）



略 歴

山本文房堂サムホール展奨励賞（'97）
県展入選（'98）
行動展入選（'00）
i ma 長崎カラ展（'05）
BRING ART IN 上海（上海劉海粟美術館）（'05）
福岡市美術連盟展（'04～'06）
コンテンポラリーアート展（'04～'06）
福岡市美術連盟会員

3月の企画展

～イチノミヤ ヨシクニ展～
3月4日（日）～31日（土）
（月曜休館、入館無料）

これからの子育て支援について 「子育てカレンダー」

須恵町では、「子育ての自立支援」「子育て家庭にやさしいまちづくり」「頼もしい地域社会づくり」を基本理念に、子育て支援を進めています。

今回は、「子育てカレンダー」を紹介します。

この「子育てカレンダー」は、毎月の子育て支援事業に関する行事を掲載し、みなさんに広く知っていただきたく発行しているものです。妊婦教室や予防接種の日程、「つくしんぼ」での行事、行政区チャットルームの日程などをわかりやすく掲載しています。裏面には「食育」に関する情報もお知らせしています。みなさんご活用ください。

▼発行日 毎月月末発行

▼配布場所 役場子ども教育課・ボランティアセンター3階

「つくしんぼ」

保育所開所時間を変更！

子育て支援の一環として、保育所の開所時間を変更いたします。

現在、町立保育所は、開所時間が7時30分からですが、保護者の通勤時間などを考慮して本年4月から開所時間を7時に変更します。

私立保育園も含めて保育所は全て、開所時間が7時より18時（延長保育は19時）までとなります。

▼問合せ先 役場子ども教育課

☎932・1151

緑を守り育てる

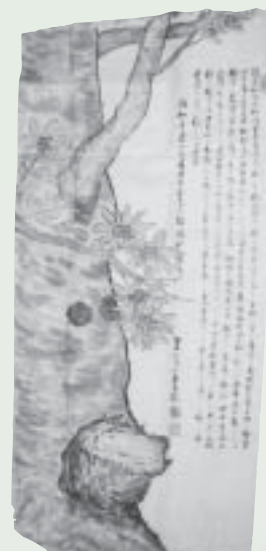
御前モモ

佐谷区の仲島地区は、昔からヤマモモの木が数多く茂っていたところとして知られています。そこに「御前モモ」と呼ばれる一際光彩を放つ大木がありました。

貝原益軒の続筑前風土記によると、このヤマモモは幹の周りが6メートル、地上から1メートルのところまで3本の幹に分かれ、それぞれの幹周りが2メートル以上、木の高さは15メートル位あったといわれています。毎年、果実が熟するころには、130枚のムシロを敷いて梅の実ほどもある果実を収穫し、福岡藩主の黒田侯に献上していたと記されています。宇美町に住んでいた故 入江翠山氏が描いた一幅の淡彩画が残っています。

昭和36年（1961年）に頼まれて描いたもので、「御前モモ」の情景を彷彿させてくれます。

この「御前モモ」は、その後衰えて、竹林の中に枯れた株だけを残す状態になっています。現在、町の保存樹に指定されているヤマモモは、貝原雅俊さ



入江翠山画「御前モモ」



保存樹のヤマモモ

んの屋敷の直ぐ山手、山林の一角にあります。この木は、「御前モモ」の孫木だという話もありますが、その辺は定かではありません。それはともかく、現在のヤマモモは根元の幹周りが4・16メートルあり、町内では最大のヤマモモであることは間違いないようです。ヤマモモは、毎年6月半ばに小さな赤い実をつけます。昔は、子どもたちが木に登ったりして、競いあつて食べていましたが、食べ物が豊富になった現在では、子どもたちあまり寄り付かないといえます。ヤマモモは、須恵町はもとより、福岡県内でも少なくなっている、未永く保存していきたい樹木のひとつです。

（自然教育推進協議会）